



こども未来部 保育課
電話:082-420-0934



『未来を担うこどもの育ちサポート』研修会を開催

～ 理論と実践の融合による幼児教育・保育の質の向上を目指して ～

1 概要

本市は、令和3年6月に「ひがしひろしま乳幼児教育・保育アクションプラン」を策定し、“とことんあそび 豊かに育つ ところとからだ”を目指す乳幼児の姿として掲げ、子どもの自主的な遊びを通して社会を生き抜く力を培う保育の実践を開始しました。

また、併せて昨年度は、幼児教育研究分野において名高い広島大学とともに、このアクションプランが保育の質向上に与える影響をテーマとした研究を実施しました。

これらの取り組みは、従来の枠組みにとどまらず、高い専門性を有する研究者等と日々現場で向き合っている保育者が連携し、「理論と実践を融合」させるもので、今年度は関係者と共に「未来を担うこどもの育ちサポート」を立上げ、より積極的にアクションプランを推進しています。

この度、これまでの成果の周知とさらなる展開を図るため、市内の保育施設等の施設長を対象とした研修会を開催します。

2 令和4年度 研修会

(1) 日時 令和4年8月24日(水) 14時～15時30分

(2) 場所 広島大学教育学部 L205教室
(広島大学総合博物館2階)

(3) 講師 広島大学大学院附属幼年教育研究施設
教授 七木田 敦 氏

(4) 対象 認可保育施設等の施設長

(5) 内容 東広島市の就学前保育施設の保育の質と乳幼児の育ちに関する評価研究について



3 未来を担うこどもの育ちサポート

(1) 主な取り組みと内容

ア 研究指定モデル園への重点支援(今年度の対象3施設)

保育プロセスの質の評価スケールを用いて、保育に影響を与えている環境要因・人的要因を分析のうえ、保育の現場でカンファレンスを実施することで実践的に保育の質を向上させる。

イ 乳幼児教育・保育現場における実地指導・助言(今年度の対象10施設)

幼年教育研究の専門教員が保育現場等を訪問し、乳幼児の5つの力を育むための実地指導・助言を行う。

ウ 特別な配慮が必要な児童への支援(今年度の対象2施設)

アンケート等の調査により支援ニーズの実態を明らかにし、支援の充実及び小学校への円滑な接続に資する。